



さあ、答え合わせをしよう！

vol.67 調べてみよう～衣①

※ココを見てね! ▶ 調べてみよう～生活文化「衣(い)」

1. 人類が作ったもっとも古いアクセサリは、南アフリカの遺跡でみつかった約75,000年前のものです。さて、それはどんなものでしたか？

正解:②貝(かい)に穴(あな)をあけたビーズ

旧石器時代(きゅうせっきじだい)は、氷河時代(ひょうがじだい)というほど寒い時代です。どんな服(ふく)を着(き)ていたかはわかりませんが、寒さをのりきるために、狩(か)りてつかまえたシカなどの皮(かわ)で簡単(かんたん)な服(ふく)を作っていたと考えられています。そして、アクセサリには魔除(まよ)けのほか、パワーを身につけるため、また身分(みぶん)をあらわすなどの意味があったと考えられています。

人類最古(じんるいさいこ)のアクセサリは、南アフリカ南部にあるブロンボス洞窟(どうくつ)で発掘(はくつ)された、約40個にもおよぶ“貝殻(かいがら)のビーズ”でした。黒や濃(こ)いオレンジで、1センチ以下の豆粒大(まめつぶだい)。どの貝殻(かいがら)もほぼ同じ位置(いち)に穴(あな)がつけられ、こすれたような跡(あと)があったことから、糸などでつないで身に着(つ)けていたと考えられています。そう、正解は②です。

2. 日本列島の縄文時代から古墳時代にかけて、大切にされてきた石の一つで、新潟県の長者ヶ原遺跡(ちやうじゃがはらいせき)出土のその石は、「国石」に指定(してい)されています。さて、それは何の石？

正解:②ヒスイ

国花(こっか)や国鳥(こくちょう)と同じように、国石(こくせき)とは、その国家(こっか)を代表する石のこと。多くの国が自国(じこく)で産出(さんしゅつ)する宝石(ほうせき)を象徴(しょうちょう)とするなか、日本は「翡翠(ひすい)」を国石としています。新潟県(にいがたけん)の「お宝ベスト5」にも紹介されています。正解は②ヒスイ。日本にはヒスイの産地(さんち)がいくつかありますが、古代の遺跡(いせき)で出土(しゅつど)するヒスイの玉は、ほとんどが新潟県(にいがたけん)の姫川(ひめかわ)とその支流(しりゅう)でとれたものでした。大粒(おおつぶ)で良質(りょうしつ)、さぞや美しかったことでしょう。北海道や沖縄県でもみつかっています。

3. 『魏志』倭人伝(ぎしわじんてん)によると、弥生人の男性は、頭にハチマキをして幅(はば)の広い布を腰(こし)にまきつけて結んだだけの「横幅衣(おうふくい)」を着ていたようです。これに対し、女性は、なんとよばれる服装(ふくそう)をしていましたか？

正解:③貫頭衣(かんとうい)

大昔の人たちが、どんな服(ふく)を着(き)ていたのかは、各時代ごとに説明(せつめい)してあるね。この質問(しつもん)の答えは、弥生時代(やよいじだい)にありました。正解は③貫頭衣(かんとうい)。弥生時代(やよいじだい)になると、朝鮮半島(ちょうせんはんとう)から、カイコのまゆから絹糸(きぬいと)をとる技術(ぎじゅつ)と、布(ぬの)を織(お)る「機織具(はたおりぐ)」が伝わりました。絹糸(きぬいと)をとるのは時間のかかる作業(さぎょう)ですが、草木染(くさきぞ)めもしやすく、なんといっても美(うつく)しい!色(いろ)のついた布(ぬの)で、みんなオシャレを楽しんだようです。ちなみに、「袍衣(ほうい)」とは上の衣(い/ころも)のことです。